

第1回 教育支援センター運営委員会（会議要旨）

日 時	令和8年6月2日（火） 14:00～15:30
場 所	羽島市役所 301会議室
参 加 者	委員（10名） 小中学校校長代表、学校教育研究会主務者、情報ネットワーク委員会担当校長、総合初等教育研究所主任研究員、羽島市小中学校 PTA 連合会代表、主任児童委員代表、臨床心理士、青少年育成推進指導員、健幸福祉部健幸課子ども家庭センター所長、ぎふ羽島ボランティア協会理事 事務局（9名） 学校教育課長兼教育支援センター所長、教育支援センター所長補佐、教育支援センター支援係長、教育支援センター少年係長、いじめ対策・学校支援専門員、教育相談・学校支援専門員、スクールソーシャルワーカー、地域連携コーディネーター
内 容	教育支援センター今年度の活動について
司 会	事務局（所長補佐）
1 所長挨拶	・GIGAスクール構想の第二期について ・教育相談支援活動について
2 会長挨拶	・学校を取り巻くさまざまな課題について ・本日は皆様の意見をお伺いして、充実した事業にしていきたい。
2 議 事 事務局	令和8年度教育支援センター事業について ・支援係長より 1 情報教育支援活動 2 子どもの個性を伸長する活動 ・少年係長より 3 教育相談支援活動（問題行動等の発生状況、不登校の状況） ・所長補佐より 4 少年センター機能の活動方針 5 主な活動・事業の実施計画 について説明
3 質疑応答	
質問 事務局より	・管理アップル ID はどうなっているか。 ・一人一人に付与するかどうかを検討するなど業者との打ち合わせを進めている。
質問 事務局より	・アクセスポイントの大元は、以前に比べて太くなったか。 ・現場で困ったという声は聞かない。アクセスポイントを変えていくことにより、機能は向上し、接続しやすくなるはずである。
質問 事務局より	・問題行動に関して、過去5年間の項目別発生件数はグラフから分かるが、学年ごとの経年推移が分かるものはないのか。 ・小中ごとの発生件数に加え、学年ごとの経年推移や追跡調査から分析する必要性は感じている。今回の会では例年資料を示しておらず、いじめ防止専門委員会の方で話題にしている。
感想・意見	・娘のタブレットは、家で充電をしても、昼には充電がなくなってしまうと聞いている。今回、夏にタブレットの入れ替えが行われるとのことで、楽しみにしている。

感想・意見	・サポートルーム「のぞみ」における給食支援の取組はとてもよい。今後は、「あさひ」においても実施されとのことで、登校できない児童生徒にとって家庭以外の人との関わりをもてる場になるよう、引き続き進めていってほしい。
事務局より	・のぞみ食堂は5月から実施しており、現在は2名程度が利用している。ここが居場所になるように進めていきたい。 また、あさひ食堂については9月中旬から実施する予定でいる。
感想・意見	・どの教職員も、支援の仕組みについて理解できるよう周知していくとよい。 ◇サポートルーム「こだま」「のぞみ」「あさひ」について （特徴、活動内容、申請から利用許可が下りるまでの流れなど） ◇SSWについて（役割、支援方法など）
感想・意見	・虐待等の事案について、今は児童生徒自身が声を上げたら、対応する方針である。ただし、声を上げることのできない児童生徒もいる。地域が早めに察知し、関連機関につなげていけるとよい。
感想・意見	・ヤングケアラーについても、家庭のいろいろな事情により、小学生のときから祖父母や両親を看ていることがある。学校や地域で情報を得たら、早めに情報を共有してほしい。一人でも多くの子を救えるように、連携を図っていきたい。
5 閉会の挨拶 事務局より	・いただいた意見を参考に、今年度の活動をさらに充実させていきたい。 ・第2回の会について（案内）